

平成24年6月3日
今週のベストショット



雁レク4番球場 奈多サンデーズ 対 ソルトベイズターズ戦

3安打をマークし、前年覇者サンデーズをあと一步まで追い込んだソルトベイズターズ3番中村耕一郎選手。

(写真：三球会 小倉圭太)

雁レク4番球場

奈多サンデーズ (4勝0敗1分) 0 1 0 0 2 2 5 △江口ー荒口

ソルトベイズターズ (2勝2敗1分) 0 1 0 0 3 1 5 △鶴野ー酒井

HR：木下(奈多サ) 3BH：田中(広)(ソルト)

2BH：塚本、壱岐(奈多サ) 中村(健)×2、中村(耕)×2、酒井(ソルト)

昨年の覇者奈多サンデーズと一昨年の覇者ソルトベイズターズとの戦いとなった今試合は、予想を超えた熱戦となった。先制したのは先攻サンデーズ、二回表に先頭打者5番塚本選手が2ベースを放ちチャンスメイクすると、8番壱岐選手の2アウトからのタイムリー2ベースで先取点をあげる。その裏ソルトはヒットで出塁した6番坂本選手を8番酒井選手がタイムリー2ベースでホームに還しすかさず同点に追いつく。三回裏ソルトは先頭打者1番中村(健)選手が2ベースヒットで出塁し、三番中村(耕)選手のセンターへのヒットの間にホームを狙うがセンター野田選手の好返球にあいホームタッチアウトとなり、三回、四回は両チーム共にチャンスを作るも無得点。試合が大きく動き出したのは五回。先攻サンデーズの先頭打者8番壱岐選手がこの日二本目となるヒットで出塁すると、1アウトとなったあと1番木下選手が値千金の2ランホームランを放ち3対1と勝ち越しに成功。しかしその裏ソルトはクリーンナップの三連打などで3点を挙げ4対3と逆転。試合はここで決まったかと思われた。が、最終六回にも波乱は待っていた。六回表、後がないサンデーズは相手守備のエラー等で0アウト満塁のビッグチャンスを作る。この場面で途中出場の富安巧選手のセカンドオーバーヒットでチャンスを生かしたサンデーズは2点をあげ再逆転に成功。しかしその裏四球で出塁した8番酒井選手を1番中村(健)選手がタイムリーで返し同点に追いつく。そのままサヨナラを目指すソルトナインの猛攻をサンデーズナインは卓越した守備力で凌ぎ切り試合終了。取られては取り返すシーソーゲームとなった試合は5対5の同点という結果となった。優勝チーム同士の試合となった今試合はその名に相応しい見応え十分の試合であった。

(記事、写真：三球会 小倉圭太)



二回裏、同点に追いつく適時二塁打を放つソルト酒井選手。



三回裏、サンデーズ野田選手の好返球でソルト追加点ならず。



五回表、均衡を破る2ランHRを放ったサンデーズ木下選手。



六回表、無死満塁のピンチでマウンドに集まるソルト内野陣。

雁レク5番球場

三苦フレンズ (0勝4敗1分) 0 4 1 2 0 0 7 △塔本—佐藤

雁ノ巣ライナーズ (2勝1敗1分) 0 1 1 2 3 0 7 △有馬—奥原

HR: 生野(三苦フ) 樽野(雁ノ巣) 3BH: 三宅(雁ノ巣)

2BH: 生野×2(三苦フ) 奥原、久保田(雁ノ巣)

三苦フレンズは二回表、生野選手のタイムリーツーベース等でこの回4得点。一方雁ノ巣ライナーズは三回裏、奥原選手のタイムリーで1点返すも、今日大活躍の生野選手のHRで突き放される。しかし、五回裏、樽野選手のHR含む4連続安打で同点に追いついた。最終回は両チーム無得点でゲームセット。

(記事、写真: 奈多クラブ 落石官照)



二回表、フレンズ生野選手タイムリーツーベース。



三回裏、ライナーズ奥原選手タイムリーヒット。



四回表、生野選手ホームラン後のフレンズベンチ。



五回裏、ライナース樽野選手HR後のハイタッチ。

青松園A

新町ウインズ (0勝4敗1分) 1 1 4 0 0 6 ●早田-今林

三苦ホーネッツ (5勝0敗0分) 1 0 3 4 2 10 ○井手、矢野-山崎

HR: 稲葉、塚 (三苦ホ) 3BH: 城戸 (新町ウ) 2BH: 桐島、今林、野中 (新町ウ) 稲葉 (三苦ホ)

ウインズは初回、3番今林選手のセンターオーバー二塁打で幸先よく1点を先取。対するホーネッツも3番稲葉選手のライトオーバー二塁打ですぐさま同点追いつく。ウインズは二回に1点、三回には四連打などで4点を追加して、一時は6対1と5点の大量リードで優位に試合をすすめるかと思われた。しかし、ホーネッツは三回裏にはチャンスで3番稲葉選手が期待に応じて3ランホームランを放つと、四回にはついに逆転に成功。とどめは五回にキャプテン塚選手のホームランでダメ押しとした。これで、ホーネッツは開幕から無傷の5連勝。一方ウインズはまたも今シーズンの初勝利はお預けとなってしまった。

(記事・写真: レッドサンデーズ 鳥羽晃弘)



初回、先制の二塁打ウインズ今林孝智選手。



先制点をハイタッチで迎えるウインズ。



三回裏、3ランHRを放ったホーネッツ稲葉選手。



無傷の五勝目、ホーネッツ井手投手。

青松園B

塩浜ジャガーズ (3勝2敗) 001000 1 内田●ー竹尾

奈多フェニックス (5勝0敗) 00201X 3 池見○、今林(勇)ー実延

HR: 今林(勇) (奈多フ) 2BH: 碑田(塩浜ジ) 安河内(祐) (奈多フ)

両チームとも一、二回ともに得点圏にランナーをおくものの、内田耕司、池見和彦両投手に要所を締められ無得点。三回表ジャガーズは、二死一三塁でダブルスチール、キャッチャーが二塁へ送球する間に岩崎光洋選手がホームインし1点を先制した。その裏フェニックスは一死後2番西藤圭介選手がレフト前、送球がもたつく間に一気に二塁へ。3番安河内祐貴選手の二塁打で同点、4番実延新伍選手の三塁ゴロで二塁走者が飛び出しタッチアウトとなりチャンスが潰れたかに思えたが、実延選手の二盗にキャッチャーが悪送球、カバーのセンターがもたつく間に一気に逆転のホームを踏んだ。フェニックスは五回にも西藤選手が左中間本塁打を放ち1点を追加し、投げては五回から救援した今林勇太投手が二回を抑え切った。(記事、写真:ブルーマーリンズ 友重正司)



1回表 ジャガーズ先頭の岩崎選手が中前安打を放つ。



1回裏フェニックス3番安河内選手の中前で一三塁のチャンスを作る。



三回表ジャガーズは、WSで岩崎選手が先制のホームイン。



三回裏フェニックス安河内選手が同点二塁打を放つ。



安河内選手のヒットで西藤選手が同点のホームを踏む。



五回裏、左中間本塁打を打ち、猛打賞のフェニックス西藤選手。



五回から救援し、二回を無失点に押えたフェニックス今林勇太投手。

第8週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

6月最初の試合は4試合とも接戦でした。

雁レク4番球場の奈多サンデーズ対ソルトベイスターズ戦は、サンデーズ打線が先制するもののいつもの集中打や爆発力に欠け、ソルト鶴野投手に6安打と抑え込まれてしまいます。一方ソルト打線は江口投手に11安打を浴びせますが、野田中堅手の好返球や荒口捕手の体を張ったブロックに決定的な点を奪えません。サンデーズは最終回に今年初打席の富安巧サンデーズ会長が放った逆転の2点タイムリーを守りきれず、その裏これまで3安打のソルト3番中村耕一郎選手にあわやサヨナラの打席を回してしまいます。最後は江口投手が踏ん張り5-5の引き分け。この引き分けが今後サンデーズにどう影響するか？ソルトはこの引き分けを切っ掛けに中盤戦以降台風の目になりそう。

雁レク5番球場の三苦フレンズ対雁ノ巣ライナーズ戦で、ライナーズ先発は新人の有馬投手（38歳）でした。今年のライナーズの新人3人は投手もできるんですね。フレンズは、その有馬投手を1HR2二塁打と打ち込んだ1番生野拓磨選手の活躍で常にリードしての有利な展開でしたが、中盤からじりじりと追い上げてきたライナーズが五回裏樽野選手のHRから四連打で遂に追いつきます、しかし、こちらサヨナラのチャンスをフレンズ塔本投手の踏ん張りで7-7の引き分け。ライナーズは新人を育ててますね。

雁レクの野球場は、雨上がりにも関わらずボールが跳ねるので、その処理に戸惑う場面が見られますね。またマウンドがあるのでその対策も必要です。

青松園Aの新町ウインズ対三苦ホーネッツ戦は、初回ホーネッツ先発井手投手の出鼻を三連打で先制したウインズが三回表で6-1と大きくリードしていましたが、さすがのホーネッツが三回裏に稲葉選手のHRで2点差とすると、四回裏二死から4点を挙げ遂に逆転。最終回には6番堺徹生選手のHRも飛び出しそのまま逃げ切りました。ホーネッツは矢野選手が4打席全て四球で出塁、2番山崎選手も3安打し全て出塁など上位打線の出塁率の安定した高さが目立ちますね。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、好投手同士の息詰まる投手戦。フェニックス池見投手から先制したジャガーズですが、得点なく最終回も一打同点のチャンスを抑え込まれてしまいます。一方フェニックスはジャガーズ内田投手から6安打中5安打を2番西藤、3番安河内裕貴選手で放ち、抑えて今林勇太選手が登板するなど20代が活躍が全勝の要因でしょう。

さあ、もうすぐ梅雨入りで足元が悪い中での試合が予想されますが、練習の時からグラウンド状況を確認しておくことをお勧めします。また、練習と試合でボールの質が違っていると、大事な場面でお手玉とかしちやいますので、

悪いボールは早めに処分しましょう。

6月10日は4試合です。

	一塁側		三塁側		審判
青松園A	奈多クラブ	対	三苫フレンズ		雁ノ巣ライナーズ
青松園B	新町パイレーツ	対	塩浜ジャガーズ		新町ウインズ
雁レクB	三友クラブ	対	三苫三球会		ソルトベ이스ターズ（支払い）
雁レク6	ブルーマーリンズ	対	レッドサンデーズ		三苫ホーネッツ